平成30年度 第1回 熊本市社会教育委員会

会議録要旨

【開催日時】平成30年8月8日（水）10:00～12:00

【開催場所】熊本市教育センター 第2研修室

【出席者】

■ 社会教育委員

小澤 雄二 委員
 諏訪園 勉 委員
 中川 ケイ子 委員
 加藤 貴司 委員
 大館 敬七郎 委員
 高木 徳文 委員
 東田 恵子 委員
 橋口 健二 委員
 山平 敏夫 委員

以上9人

《欠席者》
なし

■ 事務局

- ・ 生涯学習課長 渡部 秀和
- ・ 教育政策課長 上村 鋭二
- ・ 熊本市立図書館長 坂本 三智雄
- ・ 熊本博物館長 植木 英貴
- ・ 青少年教育課長 上原 章広
- ・ 金峰山少年自然の家所長 中村 正幸
(生涯学習課)
- ・ 西主幹兼主査
- ・ 松本主幹兼主査
- ・ 川口社会教育主事
- ・ 松原参事
- ・ 大森主任主事

以上11人

発言者 (関係資料)	発言要旨
	【開会】
	【委嘱状交付】
生涯学習課 課長	【挨拶】
各課長 (P4～P11)	【議事】平成30年度熊本市社会教育関係事業について ・ 生涯学習課 ・ 熊本市立図書館 ・ 熊本博物館 ・ 青少年教育課 ・ 金峰山少年自然の家 ・ 文化振興課（代理説明）
委員	公民館子ども活動支援経費について、参加した子どもたちが、どう受け取っているのか、どのような感想を持っているのか教えていただきたい。同じく、博物館の子ども科学・ものづくり経費についても、小中学生の参加体験の様子、感想を教えていただきたいと思います。

発言者 (関係資料)	発言要旨
生涯学習課 事務局	子どもチャレンジ公民館の事業経費です。「プランナー」と呼ばれる子どもたちが主役となり、自らイベント等を企画運営事業です。各区での持ち回りでの開催であるため、本年の受講者が引き続き来年も受けた場合、輪番のため、区が変わり参加しづらい状況となることもあります。しかしながら、エリアを越えて「プランナー」がリピーターとして参加している状況が見られます。また、公民館独自で主催講座として同事業を行っている館もあります。子どもたちの積極的な参加が見られます。
熊本博物館 館長	小中学生を対象とした教室と、幼児から大人までを対象とした教室のふたつの教室があり、29年度は900名の参加がありました。子どもたちの科学離れ・理科離れが進んでいる状況で、いかに興味を持ってもらうかということを検討しております。子どもたちは、実際の実験に携わり、モノが変化する様子を驚きの目で見えていますし、実験を通して、ルールや規則（禁止事項や順番を待つこと）への理解を深めていると感じます。リピーターの子どもの多いため、是非、積極的に継続していきたい事業と考えております。
委員	子どもたちが科学に出会う時期というのは、とても大事な時期だと思います。そのような時期に、このような内容の事業があることはとても良いと思います。今、人づくりの新しい時代に入っていると思います。子どもチャレンジ公民館については、その先導的役割を担っていると思いますので、より拡充していただければと思います。
議長	金峰山少年自然の家受入主催経費について、小学校低学年を対象とした事業あるようだが、どのような活動をしているのか教えてください。
金峰山少年自然の家 所長	小学1年生から3年生を対象とした「はじめの一步」という事業です。夏休み開始直後と春休みに実施しています。昨年度は定員40名のところ130名の応募があり、本年度実施回数を増やしました。内容は「初めての泊り」を経験してもらう内容で、子どもたちや、保護者からも大変好評です。
熊本博物館 館長	関連として、小学5年生の集団宿泊教室についてですが、博物館休館以前は、金峰山少年自然の家へ行く前に、博物館でプラネタリウムを観て、その日の夜の、本物の星空を観察する、ということも行っていました。博物館のリニューアル期間中は、プラネタリウムも行っておりませんでしたので、リニューアル後は、なるべく多くの小学校に来ていただくよう積極的に働きかけていく必要がありますし、それに加え、館内の学習プログラムを充実させていきたいと思っております。5年間も休館しておりますと、子どもたちに、博物館は何をしたらいいかと聞かれたこともございました。子どもの時期の心に残る学びが、生涯学習に繋がると思っておりますので、積極的に連携を図りながら、あらゆる世代へ、学びの場を提供していきたいと思っております。
委員	質問ではありませんが、小学生の地域での活動で、他校の小学生が一緒になって、川や海の生物調べを行ったりする事業があります。その際、金峰山少年自然の家を利用し、交流を図っていると聞きました。とても良い活用だと思いますので報告させていただきます。

発言者 (関係資料)	発言要旨
	【報告】(1) 各種審議会等について
生涯学習課 事務局 (P13~P14、資料1)	ア 生涯学習指針策定委員会について 会議内容報告
生涯学習課 事務局 (P15、資料2)	イ 公民館運営審議会について 会議内容報告
教育政策課 課長	ウ 教育委員会事務事業点検評価会議について 会議内容報告
委員	成果指標の【過去1年間に生涯学習を行った市民の割合】ですが、平成30年度の目標値50%については、到達できる目標なのですか。
生涯学習課 課長	総合計画市民アンケートでは、直近の調査で42.0%。当課が平成30年2月に実施した生涯学習に関するアンケートでも46.0%となっており、50%というのは、非常に高いハードルと認識しております。
委員	生涯学習指針策定委員会の委員からの意見で、「中学生、高校生の親を対象とした講座を増やしてほしい」とあります。 公民館の利用者は、小学生まで利用は多いが、中学生からは利用しなくなるという傾向があると思います。 そのような中、どのようにして、中高生の保護者を集めるか、非常に難しいと課題だと思えます。 例えば、子育てに対し、悩みを持った保護者に対しての講座を設けるならどういったものがあるか、検討されているのであれば伺いたいと思います。
生涯学習課 事務局	家庭教育学級が、生涯学習指針策定委員会の委員からのご意見にあたると思います。多くの小学校、中学校で家庭教育学級を開催していただいております。 ご指摘のとおり、主催講座の中で、中学生、高校生を対象とした講座を設けても、なかなか参加が見られない状況でして、その保護者を対象とすることも難しいのが現状です。 現在、事業における統計では、年齢層のデータはありますが、「小学生の保護者」「中学生の保護者」というのは把握できません。 家庭教育関係の講演会などでは、中学生の保護者も参加していると思われるので、検討していきたいと思えます。
生涯学習課 事務局 (P17~P20)	【報告】(2) 白川公園内複合施設について 事業報告
委員	中央公民館の職員配置について、資格職の配置が記載されていますが、資格職は正職員なのか。もう少し詳しく教えてください。
生涯学習課 課長	旧中央公民館の職員体制と同じく、社会教育主事については正職員で考えています。館長も同様です。
委員	中央公民館には、児童館のような施設はないのでしょうか。

発言者 (関係資料)	発言要旨
生涯学習課 課長	白川公園内複合施設は、公立社会教育施設災害復旧費補助で、旧中央公民館の現状復旧が原則となっておりますので、旧中央公民館に児童館はありませんでしたので、児童館は設置しておりません。
委員	旧中央公民館には、地域婦人会連絡協議会や地域公民館連絡協議会が入っていましたが、そのような団体は入らないのですか。
生涯学習課 課長	外郭団体については、地震後、現在の場所に移転する際に、新しい中央公民館には入居できない旨、ご理解いただいております。
委員	指定管理については、同事業者が何期か引き続き行うのか。また、契約期間終了後、実績等の評価をして継続したりするのか教えていただきたいと思ひます。
生涯学習課 課長	指定期間の記載がありませんでしたが、指定期間は5年間としております。5年ごとに、今回と同様に公募を行います。 このような中、継続性をどのように担保するのか、ということが課題として残ると思ひますが、仕様書にきちんと明記をし、モニタリング等を行っていくことで、事業者が変わっても継続できると考えます。 職員の質の担保についても、仕様書に明記しておりますが、研修等を受けていただひて、高い知識を持っていただひたいと思ひております。
委員	社会教育主事が1名となっておりますが、私としては、2名くらい配置していただひたいと感じます。 複合施設となり、老人福祉センターの機能を持っているということですが、今から先は、世代間交流が必要とされていると思ひます。そのような交流についても提案があれば良いと思ひます。
生涯学習課 課長	公募の仕様書については、公民館機能の「学ぶ」のほか、幅広い世代を対象とした「集う」ということについても明記しております。 公園、民間商業テナント、公民館を一体化して管理運営することにより、交流の場、賑わいの創出をすることを仕様概要に入れておりますので、公募事業者からの、提案を待ちたいと思ひます。
生涯学習課 事務局 (P21～P22)	【その他】九州ブロック社会教育研究大会熊本大会について 大会概要説明
議長	本日の予定は全て終了しましたが、委員の皆様から何かご意見はございますか。
委員	中央公民館の件ですが、指定管理となっても、他の公立公民館と同じような活動内容をしていただひたいと思ひます。 公民館長会議や、社会教育主事会議には参加していただき、今までどおりの活動内容を継続していただひたいと思ひます。また、その指導をよろしくお願ひします。
	【閉会】